



# 清 新

学校評価  
特別号  
令和7年9月



学校ホームページ

夏休み前、学校評価へのご協力ありがとうございました。子どもたちへのアンケートも含め考察しました。その結果、富貴島小の今後の方向性について考察したことを中心にお伝えします。

※「前期学校評価結果」については、富貴島小学校ホームページにアップします。

※本文内の％は肯定的評価の数値です。

## 富貴島小の学び → 子どもが自らの学びをデザインする

学びにはゴールがあり、子どもたちに身につけて欲しい力があります。そのゴールに向けて教師が学びのルールをひくのではなく、富貴島小では子どもたちがゴールへの行き方を自分で決めることができるよう学びをサポートしています。また学びを登山に例えるならゴールの頂上が同じ場所であっても登るルート、登り方は子どもにとって違う場合があることから個々の子どもの学びに丁寧に寄り添ったサポートを意識して行っています。

「お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど興味を持って学習に取り組んでいるか」（評価項目3）の肯定的評価は80％（保護者）、81％（児童）です。市の平均がそれぞれ67％、75％であることからいずれも市の平均を上回っており富貴島小の大きな強みであると考えます。「子どもが自らの学びをデザインする」この方向性を今後も大切にしていきます。

## アナログとデジタルのベストミックス

本校の特色は読書教育、学校図書館活用です。「日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか」（評価項目4）は市平均と比べ、保護者では20ポイント、児童では16ポイント高くなっています。またタブレットの活用においても市平均と比べ、保護者16ポイント児童11ポイントと高くなっています。（評価項目5）富貴島小の学校図書館ではタブレットを持ち込んでの調べ学習が日常となっています。図書資料の良さを生かし、またタブレットの道具としての良さも生かしながらより良い学びを進めています。この方向性を大切に、アナログとデジタルのベストミックスを図っていきます。

## 楽しみながら～体力の向上

今年度、水曜日はロング昼休みとしています。長い時間を使って意図的に子どもたちの活動を作り出し体力向上、情緒の安定を図っています。

「運動やスポーツに親しんでいますか」（評価項目6）は昨年度74％が82％（保護者）

と上昇しました。市の平均76%を大きく上回っています。短期間での上昇は考えにくく昨年度からの取組が評価されたと考えます。(児童は昨年度と同じ80%)これから委員会が中心となった運動に関するイベント等を行い、子どもたちの運動への意欲をさらに高めていきます。

「望ましい食習慣が身についていますか」(評価項目7)も市の平均を上回っています。これは家庭での取組が大きく影響し、それがプラスに働いていると考えます。食育については今後も家庭と連携して進めてまいります。

## すべての子どもに PROJECT

市川の教育に4つのPROJECTがあります。その中に「すべての子どもにPROJECT」があります。これは教育の力ですべての子どもたちのウェル・ビーイングを目指すものです。このPROJECTの一環として市川市のすべての公立学校にSSR(スペシャルサポートルーム)が設置されました。富貴島小は昨年度から設置し今年度も富貴島サポートルームとして子どもたちに多様な学びの場を提供しています。

「学校には一人一人に対応したきめ細やかな支援体制が整っていますか」(評価項目9)の保護者肯定的評価は78%です。市の平均72%よりは高いのですが、数値としては不足していると捉えています。支援体制として何が不足しているのか保護者の方々から伺いながら、できることに取り組んでいきます。

「困ったことがあった時に相談できる先生がいますか」この項目の児童の肯定的評価は79%でした。市の平均は上回っていますが、この数値も不足していると捉えています。子どもたちの豊かな学びの実現には子どもたちの情緒の安定が不可欠です。子どもが相談しやすい教育相談の実施に向け改善策を探っていきます。

## 保護者、地域とともに

「学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取組を進めていると思いますか」(評価項目8)この肯定的評価は保護者91%、児童72%でした。市の平均と比べそれぞれ6ポイント、29ポイントと上回っています。特に子どもたちが保護者や地域の方のサポートを強く感じていることが推察できます。現在、多くの保護者や地域の方に教育に参画していただいています。子どもたちが「多くの大人たちが自分たちの成長に関わっている」と感じていることがとてもうれしいです。これも富貴島小学校、この地域の大きな強みだと思います。これからも子どもたちのよりよい学び、育ちに関わっていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。